

表1 福島第一原子力発電所事故を踏まえた課題の項目

1	シビアアクシデント対策	2	地震対策
3	津波対策	4	新たに判明したリスク
5	放射線監視設備、SPEEDI システム等の在り方	6	発電所内の事故対応
7	過酷な環境下での現場対応	8	原子力災害時の情報伝達、情報発信
9	原子力災害時の重大事項の意思決定	10	原子力安全の取り組みや考え方

② 平成25年度：福島事故検証課題別ディスカッション開始

議論を効率的に進めるため、表2の課題について、委員2～3名による福島事故検証課題別ディスカッション（以下「課題別ディスカッション」という。）を開始した。議論の状況については、適宜、技術委員会において確認するとともに、課題5「高線量下の作業」の議論を踏まえた提言（参考資料3「高線量下の作業の提言」）をとりまとめた。

なお、課題1については、福島第一原子力発電所の現地調査を2回実施した。

表2 課題別ディスカッションの課題と開催回数

課題名	開催回数
課題1 地震動による重要機器の影響	14回
課題2 海水注入等の重大事項の意思決定	6回
課題3 東京電力の事故対応マネジメント	6回
課題4 メルトダウン等の情報発信の在り方	7回
課題5 高線量下の作業	4回
課題6 シビアアクシデント対策	4回

③ 平成28年度：東京電力HD・新潟県合同検証委員会設置

新潟県及び東京電力は、東京電力HD・新潟県合同検証委員会（以下「合同検証委員会」という。）を設置し、メルトダウン等の情報発信の在り方など、課題別ディスカッションの一部項目について検証を実施した。合同検証委員会は、平成30年5月に検証結果報告書を取りまとめた。

④ 随時：様々な機関の事故検証報告書の確認

技術委員会の原発事故の検証の参考とするため、先に述べた4つの事故調査委員会（民間事故調・国会事故調・政府事故調・東電事故調）を含め、様々な機関において行われている福島第一原発事故の検証報告書（表3）について説明を受けて確認した。

表3 技術委員会で確認した事故検証報告書

1	福島原発事故独立検証委員会調査・検証報告書（民間事故調）
2	東京電力福島原子力発電所事故調査委員会報告書（国会事故調）
3	東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会報告書（政府事故調）
4	福島原子力事故調査報告書（東電事故調）
5	東京電力福島第一原子力発電所事故の分析中間報告書（原子力規制委員会）
6	福島原子力事故における未確認・未解明事項の調査・検討結果（東京電力）
7	福島第一原子力発電所事故：未解明事項の調査と評価（原子力学会）
8	東京電力HD・新潟県合同検証委員会検証結果報告書（合同検証委員会）